

V 県民の文化活動を盛んにする

1 文化の振興

(1) 県民文化芸術活動の振興 << 施策 25 >>

社会教育課

平成30年度 施策の基本的なねらい

- ◇ 次代を担う子どもたちの創造性を育み、多様な個性と豊かな人間性の形成を図るため、関係機関との連携を強化しながら、子どもの文化芸術活動を推進します。
- ◇ 県立美術館の機能充実に努め、県民の鑑賞・創作活動の促進を図ります。

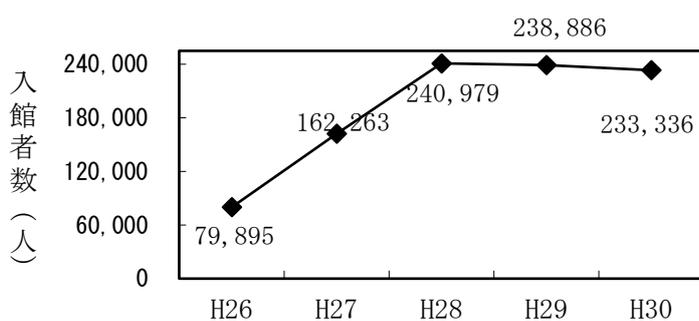
平成30年度 主な取組・事業

取組・事業名	実績
子ども文化事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県民文化祭「鑑賞・発表事業」の実施 3市</li> <li>○ 県民文化祭「芸術体験講座」の実施 20校 (小学校 15校、中学校 1校、特別支援学校 4校)</li> </ul>
中学校文化連盟 <sup>注1)</sup> 、高等学校芸術・文化連盟 <sup>注2)</sup> への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福岡県芸術・文化活動事業補助金の交付</li> <li>○ 総合文化祭の開催に関する広報協力など</li> </ul>
県立美術館の機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 展覧会の実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常設展 (コレクション展Ⅰ) 「特集：昭和戦前期の美術—時代を映す鏡—」 (コレクション展Ⅱ) 「夏休み特集：アートたんけん アートたいけん」 (コレクション展Ⅲ) 「特集：おしゃべりな絵画と寡黙な絵画」</li> <li>・ 企画展 「郷土の美術をみる・しる・まなぶ 2018 泰光コレクション寄贈記念展「鹿児島寿蔵の人形と短歌」 「平成30年度独立行政法人国立美術館巡回展 国立国際美術館コレクション：美術のみかた 自由自在」</li> <li>・ 実行委員会展 「息を呑む繊細美 切り絵アート展」 「印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション」</li> <li>・ 平成30年度福岡県立美術館所蔵品巡回展 「移動美術館展」 (宗像市で開催)</li> <li>・ 第74回福岡県美術展覧会(県展) (出品総数 2,947点、入選総数 1,338点)</li> </ul> </li> <li>○ 県民の芸術活動発表の場としての展示室貸出(56団体)</li> <li>○ 美術館レター「とつぶらいと」の発行(年3回)及び美術教養講座等の実施</li> <li>○ スクール・ミュージアム事業(アートコース)の実施(28校)</li> <li>○ 作品の購入(高島野十郎「月」)</li> </ul>

## 指 標

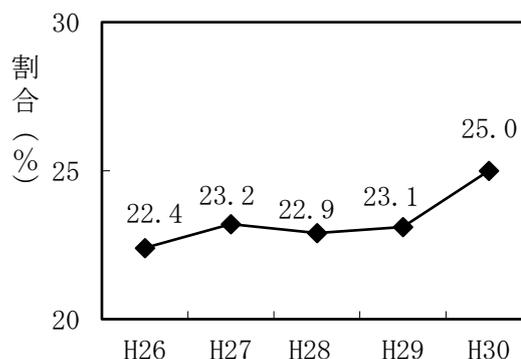
指 標	指 標 の 概 要	現 状 値	目 標 値	達 成 状 況
県立美術館の利用	県立美術館入館者数	233,336 人 (H30 年度)	160,000 人 (毎年度)	◎
文化部活動の推進	芸術・文化系の部活動に参加している 県立高等学校生徒の割合	25.0% (H30 年度)	23% (毎年度)	◎

県立美術館の入館者数



※ 平成 26 年 1 月～8 月美術館耐震改修工事のため休館

芸術・文化系の部活動に参加している  
県立高等学校生徒の割合



## 成 果

県立美術館において、県民の芸術的ニーズに応えた展覧会を開催できたことにより、  
入館者数が目標値を大きく上回りました。

- ・ 県民文化祭において、知事部局と連携し、「鑑賞・発表事業」を県内市町村で、「芸術体験講座」を県内の小・中・特別支援学校で実施しました。特に「芸術体験講座」において、楽器演奏、能楽、和太鼓等の体験及び鑑賞を行ったことが、児童生徒から好評価を得ています。
- ・ 福岡県高等学校芸術・文化連盟及び福岡県中学校文化連盟の主催する総合文化祭の開催等に対し支援を行ったことにより、生徒の文化芸術活動の充実が図られました。
- ・ 県立美術館においては、「息を呑む繊細美 切り絵アート展」や「印象派への旅 海運王の夢 パレル・コレクション」など県民のニーズに応えた展覧会を開催しました。いずれも入場者の満足度は高く、関連イベントも内容を充実させ、多くの参加者で賑わいました。
- ・ 作品を購入し、コレクションのさらなる充実を図りました。

## 課 題

福岡県美術展覧会（県展）については、出品数の減少が続いています。

- ① 今後も引き続き県民の美術に関する鑑賞・創作意欲を高めていく必要があります。
- ② 福岡県美術展覧会（県展）については、出品数の減少が続いています。

## 対 応

マスコミや民間企業との連携による効果の高い広報や、インターネット等を使った情報発信を積極的に行います。

- ① 県立美術館において、県民の芸術的ニーズを重視した実行委員会展を今後も開催するとともに、これまで蓄積した県立美術館の財産やノウハウを生かした展覧会を開催するなど、県民の美術に関する鑑賞・創作活動の更なる促進を図ります。
- ② 福岡県美術展覧会（県展）の出品数の増加や集客力を高める取組として、ホームページを活用した出品申込手続きの簡便化、マスコミや民間企業との連携による効果の高い広報、インターネット等を使った情報発信を積極的に行います。

## 注 釈

注 1) 中学校文化連盟：県内の中学校及び特別支援学校中学部の生徒の文化活動の振興・発展を図ることを目的に、福岡県中学校総合文化祭等の事業を行っている団体。美術や音楽等 11 の専門部を有する。

注 2) 高等学校芸術・文化連盟：県内の高等学校及び高等部を設置する特別支援学校における芸術文化活動の振興を図ることを目的に、福岡県高等学校総合文化祭等の事業を行っている団体。演劇や吹奏楽等 19 の専門部会を有する。

V 県民の文化活動を盛んにする  
1 文化の振興

(2) 文化財の保存・活用及び継承

《施策 26》

文化財保護課

平成30年度 施策の基本的なねらい

- ◇ 歴史と伝統に培われた貴重な文化財を永く後世に伝えるため、福岡県文化財保護基本指針を踏まえ、保護活動の充実を図り、情報提供や文化財に対する理解を深める施策を推進します。
- ◇ 地域の文化や特色を伝承する民俗芸能及び伝統工芸技術を確実に保存し、積極的に活用しながら後世への継承を図るとともに、大宰府関連史跡を始めとする重要大規模遺跡等の保存・整備・活用を進めます。
- ◇ 子どもたちが郷土と日本の歴史、文化、伝統などに対する理解を深め、これらを大切に思う心を育成します。

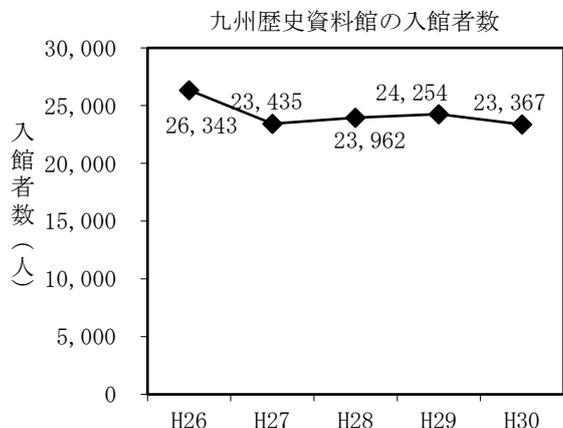
平成30年度 主な取組・事業

取組・事業名	実績
九州歴史資料館の利用促進、調査・研究の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別展（1回） 「大宰府への道—古代都市と交通—」</li> <li>○ 企画展（7回） 「きゅうおにとタイムトラベル—大昔のくらしと国づくり—」等</li> <li>○ パネル展（7回） 「保存科学成果展—古賀市船原古墳遺物埋納坑調査の最前線 2017～2018—」等</li> <li>○ 教育普及講座（33回） 名誉館長講座、九歴講座、九歴ゼミ、夕べのギャラリートーク、特別展開催記念講演会等 4,344人参加</li> <li>○ イベント（17回） 古代体験まつり、ナイトミュージアム等 3,698人参加</li> <li>○ ボランティアによる古代体験・バックヤード解説 5,142人参加</li> <li>○ 小中学校の来館学習、出前講座等 4,158人参加</li> </ul>
旧福岡県公会堂貴賓館の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 壁紙張替の整備等</li> <li>○ 指定管理者によるフラワー教室、朗読会、コンサート等自主事業（49件）の実施</li> </ul>
「明治150年」近代建造物魅力発信事業 <重点事業16>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 重要文化財・門司港駅の復原に対する補助 創建当時の姿への復原工事や構造補強工事の実施</li> <li>○ 近代建造物の魅力・価値を発信する展示 県内の近代建造物や技術者を紹介する映像、パネル、リーフレットの作成及び展示</li> <li>○ 修復中の門司港駅の特別公開 門司港駅保存修理工事現場公開 89人参加</li> </ul>
福岡国際交流史発信事業の実施 <重点事業17>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別展やシンポジウムの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「魏志倭人伝」、「古墳時代の玉類」、「大宰府史跡発掘調査 50年」各関連展示及びシンポジウム</li> <li>・ 朝鮮通信使に関する記録のユネスコ「世界の記憶」登録記念シンポジウム</li> </ul> </li> <li>○ リーフレットの作成 「魏志倭人伝のクニグニマップ」（4カ国語）、「特別史跡大宰府跡ガイドブック」</li> </ul>

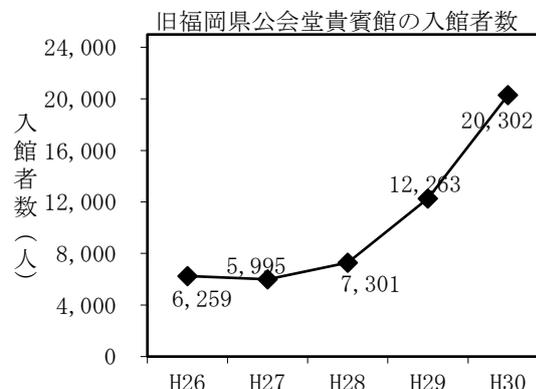
## 指 標

指 標	指 標 の 概 要	
九州歴史資料館の利用	九州歴史資料館 入館者数	
現状値	目標値	達成状況
23,367人 (H30年度)	35,000人 (R3年度)	△

指 標	指 標 の 概 要	
旧福岡県公会堂 貴賓館の利用	旧福岡県公会堂貴賓館 入館者数	
現状値	目標値	達成状況
20,302人 (H30年度)	6,800人 (毎年度)	◎



※平成30年8月～令和元年10月は、耐震化工事のため第1、第3展示室を閉室



## 成 果

旧福岡県公会堂貴賓館は、目標値を大きく上回り、過去最高の入館者数を記録しました。

- 九州歴史資料館では、常設展をはじめ、特別展、企画展、各種イベントや九歴ボランティア<sup>注1)</sup>による古代体験等により、発掘調査の成果や大宰府史跡等の歴史文化遺産の魅力を様々な方法で発信しました。
- 旧福岡県公会堂貴賓館では、指定管理者による自主事業の内容の充実や積極的な広報活動などにより、入館者数は過去最高を記録し、大幅に目標値を超えることができました。また、内装等の整備を行うことにより、観光資源としての魅力を高めることができました。
- 近代建造物魅力発信事業については、門司港駅の復原により文化財の更なる保存が図られたとともに、門司港地区の観光資源としての魅力向上につながりました。また、普段見ることのできない修理工事中の現場を公開することで、文化財への理解促進を図りました。
- 福岡国際交流史発信事業によって、多くの人々に様々な方法で、福岡県の歴史的特色である国際交流の歴史及び関連する文化財の魅力を発信することができました。

## 課 題

九州歴史資料館では、新たな入館者の開拓につながる取組が必要です。

- 九州歴史資料館では、多彩なイベントや展示を実施しており、入館者は横ばいで推移しているものの、目標値を下回っている現状があります。館周辺の開発も進んでおり、近隣住民を含む新たな入館者の開拓につながる取組や学校教育との一層の連携が必要です。
- 旧福岡県公会堂貴賓館については、文化財の保護を図りながら、引き続きその価値や魅力を発信していく必要があります。
- 福岡国際交流史発信事業については、福岡県の歴史についていまだ知られていないことが多くあることから、今後も継続的に文化財の魅力を発信していく必要があります。

## 対 応

九州歴史資料館においては、市町村や学校、民間企業等と連携した展示やイベントを実施します。

- 九州歴史資料館においては、入館者の拡充を図るため、県内市町村や他県施設と連携した展示や講演会等の開催、学校や民間企業等と連携したイベントを行うとともに、あらゆる来館者に配慮した展示を行います。
- 旧福岡県公会堂貴賓館については、指定管理者と連携協力しながら、貴賓館の魅力を生かした事業を実施するとともに、ホームページや各種媒体を活用した積極的な情報発信を行います。
- 2020年度の特別史跡大宰府跡・水城跡の史跡指定100周年に向け、より一層福岡県の歴史、文化財の特色や魅力を発信する展示やシンポジウム、イベントを実施します。

## 注 釈

注1) 九歴ボランティア：九州歴史資料館では、土曜、日曜、祝日に、歴史体験イベントや館内案内に必要な知識・技能を身に付けたボランティアによる研修講座や体験イベント、バックヤード解説を行っている。平成31年3月現在、32人が登録されている。